



住所 〒547-0046 大阪市平野区平野宮町1-9-29

連絡先 ☎ 06-6791-6626 ☎ 06-6791-5657

校長 村田 典子

開校 明治5年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751722>

**教育目標(校訓)**

「果敢に挑戦」
「人権の尊重」
「社会に貢献」

重点目標

何事に対してもあきらめず挑戦し、豊かな人権
感覚をもち、社会に貢献する子の育成

教育方針

校訓に基づく「めざす子ども像」の実現に
努める

運営に関する計画**【概要】**

児童一人一人を大切に教育を基盤に、豊かな経験を通して自己肯定感を高め、規範意識を持ち、心を育む取り組みと、意欲を高め豊かに表現し学力を伸ばす取り組みをバランスよく組み入れることを大切に、今年度の目標設定を行っている。

研究教科は国語科とし、「主体的・対話的な学びの中で、思いや考えを伝え合うことのできる子の育成」を主題として、児童がより深く学ぶための工夫を行いながら主題の探究にあたっている。

また、ICTを活用した学習の推進・朝学習や自主学習の継続・個別の指導・教員の研修等、学力向上の取り組みについて、様々な角度から進捗状況を確認しつつ丁寧に進めている。

【中期目標】

- 全員が「安心」できる学校にする。
- 全員が「きまりを守る」ことができる学校にする。
- 一人一人が「考えを持ち話し合う」ことができる学校にする。
- 一人一人が「運動能力を伸ばす」ことができる学校にする。

【年度目標】

- 令和7年度の児童アンケート「学校は安心する場所か」の項目について、「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の児童アンケート「自分から心をこめてあいさつをしようとしていますか」の項目について、「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の保護者アンケート「いじめのない学級・学年・学校づくりにつとめている」の項目について、「そう思う(どちらかといえばそう思う)」と答える保護者の割合を93%以上にする。

校長先生からのメッセージ

平野小学校は、明治5年住吉郡第1区小学校として開設されて以来、本年度創立153年目を迎えました。校区には寺社も多く、古くからの歴史と伝統に育まれてきた学校です。

正門を入るとたくさんの木々が子どもたちを迎える緑豊かな環境と、広々とした校舎や運動場。ゆったりとした空間の中で、子どもたちはのびのびと、そして規律も大切に過ごしています。

教職員は「子どもたちにどんな力をつけたいか」を真剣に考え、真摯に力を尽くしています。そして、様々な取り組みの土台にはいつも『「一人一人」と「みんな」、すべての児童が大切にされる教育を』という人権教育の目標があります。そして、日々の学びと生活の中で「自分を大切に、みんなを大切に」をもとに、意欲が高まる取り組みを工夫しています。

保護者や地域の皆様に大切にされている学校であるということに感謝しながら、家庭と連携し子どもたちの生活を支える土台作りをすることで、子どもたちが健やかに育ち、力を伸ばす学校づくりを進めています。

校長 村田 典子

PTA 会長からのメッセージ

平野小学校PTAは、厚生、人権啓発、成人教育、広報、ベルマーク、体育の6つの委員会で構成されており、いつも楽しく和気あいあいと活動しています。

子どもたちが安心安全に、そして有意義に学校生活を送れるよう、保護者と学校と地域が連携しています。また、様々なイベントを企画運営しています。私たち保護者も子どもたちと共に学び、共に楽しむことができるPTAづくりを進めています。

PTA会長 藤井 靖博

学校協議会会長からのメッセージ

150年以上前から、平野の町の人々とともに、教育の原点に立ち、一人一人の子どもをしっかり見つめて教育を進められています。

また、子どもを取り巻く様々な課題にも真摯に向き合い取り組んでいます。昭和23年度にPTAが結成され、学校と保護者が共に子どもたちの健全育成をめざしてきました。また、地域とのつながりも深く、現在、保護者・地域の方で登下校時の子どもの安全を見守っております。

学校協議会会長 水野 三枝子

国語	算数	
60	56	平均正答率(%)

●結果と概要／

・正答率を大阪市平均と比較すると、国語・算数ともに6ポイント下回る結果となった

・平均無解答率は、国語・算数ともに大阪市及び全国平均よりも高く、問題に対して粘り強く挑戦しようとする姿勢に改善点があることがわかった。

・これらの結果を受け、学力向上の取組を継続するとともに、基礎・基本のさらなる定着、読解力・思考力・表現力の育成を図る取組を進めていく。

・「先生は、よいところを認めてくれていると思いますか」「分かるまで教えてくれますか」の肯定的回答が92%であり信頼感をもって学校生活を送っていることが伺える。

●取組の成果と課題／

〔国語〕

「情報の扱いに関する項目」と「書くこと」において大阪市平均・全国平均を上回る結果となった。一方で、「読むこと」で課題がみられ、「人物像や物語の全体像を想像したり表現の効果を考えたりすること」の改善が必要である。今後も全ての土台となる知識・技能（語彙力・文法事項等）の定着を図る指導の工夫を継続していく。

〔算数〕

全ての領域において、大阪市平均・全国平均を下回る結果となった。特に「思考・判断・表現」の領域の正答率が低く、「理由を言葉や数を用いて記述」に課題が見られた。「知識・技能」の定着を図った上で、「主体的に深く思考する力」と「考えを表現する力」の育成を図るための指導の工夫が必要である。

R6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	15.60	19.31	34.09	39.12	48.02	9.54	155.47	21.83	52.62
女子	15.33	17.61	38.98	37.95	39.30	9.54	155.73	14.00	55.51

●結果と概要／

男女ともに体力合計点が大阪市及び全国平均を上回った。一方、男子は握力と50m走で女子は握力と上体起こしで大阪市及び全国平均を下回った。質問紙で「運動やスポーツをすることは好き」と肯定的に答える児童は多くいる。広い運動場の放課後校庭開放も毎日あり、1週間の総運動量が60分未満の児童の割合も少ない。前向きに取り組むを進めることで今後も運動能力の向上につなげていきたい。

●取組の成果と課題／

以前からの課題であった立ち幅とびやソフトボール投げについては、運動場に幅とびコーナーや的あてコーナーを作り、楽しみながら練習できる場を設けたことで、男女ともに大阪市平均を上回る結果へとつながった。体育委員会を中心に「体育集会」を計画・実施して学校全体で運動に親しむための取り組みを進めることができています。

今年度は、握力と反復横とびが男女ともに全国平均を下回る結果となり、課題を見つることができた。今後は、全校児童で「握力修行タイム」や「縄とびタイム」を実施し、児童が進んで体を動かしたくなるような体育的活動を計画していく。

児童が楽しみながら体を動かし、活動の中で達成感を得られるよう指導に工夫を加えて取り組みを進めていく必要がある。

学校の特徴

人権学習週間

毎学期に1回「人権学習週間」を設定しています。「友だちや自分を大切にすること（人権を大切にすること）とはどんなことか」について改めて考え、児童会が中心となり取組を進めています。さらに、教室ではアンケート（「学校で悲しいこと、いやなことはないか」など）を行い、児童の気持ちや様子についてきめ細かく見守っています。



教育目標を掲げた校舎

平小子ども祭り

たてわり（異学年集団）の活動のひとつとして「平小子ども祭り」があります。児童会のメンバーが中心となって企画したお祭りをたてわり班毎に楽しみます。当日は、店番をしたり遊んだり、みんなの笑顔が溢れる1日になります。グループを作り、主体的な活動をすることで、特に高学年の児童は大きく成長します。



平小子ども祭り

平野小の約束

平野小学校として大切にしていることがあります。

- ① 正しい言葉づかい
 - ② 時間を守ること
 - ③ 安全な廊下・階段の歩行
 - ④ 身だしなみを整えること
 - ⑤ きちんとそうじをすること
 - ⑥ 児童会による主体的なルールづくり
 - ⑦ 仲間のよさに気付かせること
 - ⑧ 責任をもたせること
- です。
全教職員で共通理解して、日々、平野小学校の「当たり前」のレベルアップを図っています。

平野北中学校との連携

平野北中学校とは、一小一中の関係で、連携しながら教育を進めています。

校舎が隣接し、通称「レインボーロード」という廊下で繋がっています。小中連携教育の取組の歴史は長く、

- ① 小中教員による「相互授業参観」
- ② 中学校教員による「出前授業」
- ③ 小学生の「部活動体験入部」
- ④ 小学校における中学生の「職業体験受け入れ」
- ⑤ 中学校の体育大会の参観（6年生）などの様々な取組があります。



授業の様子